



洞爺湖町



箱根町

はこねまち
箱根町をもっと身近に

姉妹都市提携

60周年

昭和39年7月4日に姉妹都市となった洞爺湖町と神奈川県箱根町。中学生の派遣やイベント時の観光展などさまざまな交流を行ってきたなかで、今年、提携60年目を迎えました。この機会にお互いをもっと身近に感じてもらうとうと両町の広報紙で町の魅力などを紹介します。

平成18年

虻田町と洞爺村が合併し
「洞爺湖町」誕生

「広報はこね 7月号」
で洞爺湖町の記事が
掲載されています。



山間に響く湯のせせらぎと旅人の足音 伝統あふれる日本有数の温泉地

箱根町は、神奈川県南西部に位置し、人口約1万1千人、面積約93km²です。奈良時代に開湯したと伝えられる日本有数の温泉地・箱根湯本や、起源を江戸時代にさかのぼる寄木細工などいにしえの伝統が今なお受け継がれています。

「天下の難所」として知られる箱根旧街道は、古来から旅人が行き交い、箱根山の山手坂は箱根駅伝のコースとしてもなじみです。

神奈川県
箱根町

約825km

なぜ姉妹都市に？

いずれも国立公園内にあり、大きなカルデラや豊かな湖を有する地形と、火山の恵みである温泉が湧き出る観光地である点がよく似ていることから、箱根町と旧虻田町が姉妹都市提携を結びました。

平成18年の町村合併で洞爺湖町が誕生してからも旧虻田町から続く姉妹都市の関係は変わらず、さまざまな交流を深めてきました。

また、過去に2度起きた有珠山噴火の際には、箱根町から町職員の派遣などの災害援助を受け、これらの経験を踏まえて、平成24年に「大規模災害時における相互応援協定」を締結しました。新たな関係も築き、より一層の絆を深めています。

現在も続く交流

現在も提携以来から続く、双方の中学生親善訪問をはじめ、町議会や自治会、文化・スポーツ団体などが互いに交流を図ってきました。

毎年11月3日に箱根山で行われる大名行列には当町の職員も参加し、現地で販売しているホタテ串などが箱根町の人々からも好評を集めています。

これまでの歩み

昭和39年7月
旧虻田町×箱根町
姉妹都市提携



昭和41年
箱根町使節団



昭和57年
少年野球・虻田ジュニア
オーシャン
が親善試合



昭和43年
虻田町洞爺湖スキー
場オープン

昭和49年
箱根町湯立獅子舞国選択
無形文化財に指定

箱根町の名産品はコレだ！

01

箱根寄木細工

江戸時代後期に箱根で誕生し、現代まで、きめ細かな技と伝統を守り続けてきました。経済産業大臣からも認定を受けており、国内外から人気が高い木工芸品です。

02

わかさぎ

芦ノ湖で獲れる新鮮なワカサギは、天ぷらやフライ、釜飯などで楽しめます。訪れる際には、ぜひ味わってみてください。「町の魚」にも指定されています。

03

くろたまご

地熱と火山ガスの化学反応を利用し、生卵を温泉池でゆでると、気孔の多い殻に温泉池の成分が付着し、黒色となり黒い殻のゆで玉子ができあがります。「黒たまご」を食べると寿命が7年延びると言われています。

活火山の有珠山はダイナミックな造形が特徴。荒々しい岩肌は見る者の視線を引き付けます。

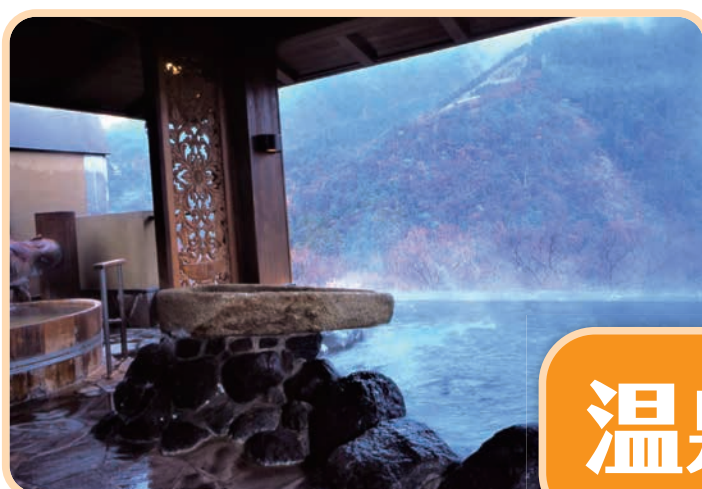


火山



箱根も火山活動が活発な地域で、駒ヶ岳を中心とした火山地帯です。箱根カルデラが特徴的です。

さんあります！

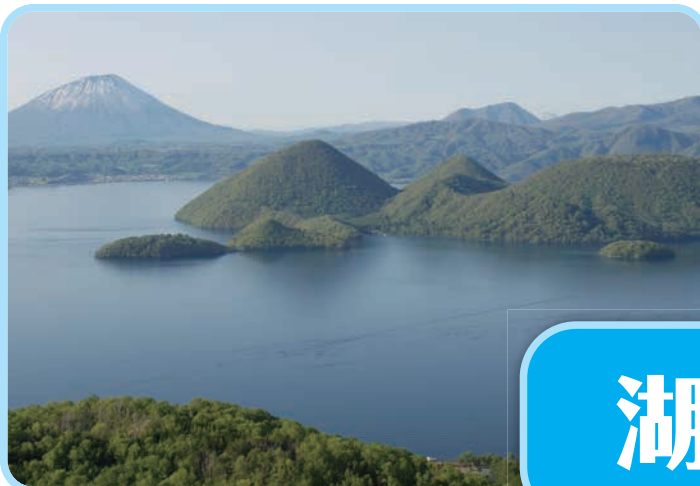


箱根温泉郷は複数の温泉地から成り、約20の温泉場が点在しています。これらの温泉は、古くから湯治場としての伝統を持ち、豊富な泉質と美しい自然環境が特徴で、多くの観光客に愛されています。

温泉

洞爺湖温泉は2016年、開湯から100周年を迎えました。湖を眺めながら湯につかれるのは箱根温泉と共通の魅力。4～10月まで行われる「ロングラン花火大会」など独自のイベントも人気を集めています。





洞爺湖はカルデラ湖で、約 11 万年前の火山活動によって形成されました。直径約10km、周囲約43km の円形の湖で、中心に中島が浮かびます。

毎年5月に開かれる「洞爺湖マラソン」には全国各地のランナーが集まります。

湖

芦ノ湖はカルデラ湖で、約3000年前の火山活動によって形成されました。直径は約2.5km、周囲約20kmと比較的小規模な湖でありながら人気の観光スポットです。



／ また一つ共通点が増えました ／



箱根町長

洞爺湖町長

共通点、たく

箱根ジオパークは、プレート境界に形成された箱根火山と周辺の地形・地質を保護しつつ、観光、教育、産業、防災に役立つ取り組みを進めています。箱根火山は、太平洋プレートがフィリピン海プレートの下に沈み込むことで形成され、多様な火山地形が見られます。



ジオパーク



「ユネスコ世界ジオパーク」に認定されている洞爺湖有珠山ジオパークは、火山マイスターが火山活動や地質学的な特徴を解説。古くから人と火山が共生してきた歴史を学ぶことができます。

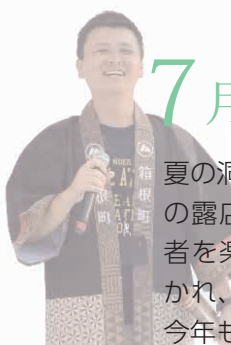
5月 洞爺湖マラソン



周囲約43kmになる湖畔の道は、マラソンコースとして多くのランナーに愛されています。今年5月の大会でついに50回目の節目を迎え、全国のランナーがエントリー。箱根町からも12人が駆けつけ、町民の声援を受けながら快走。大会を盛り上げました！



サマーフェスタ 7月 in 洞爺湖



夏の洞爺湖温泉街の恒例行事。特設会場には例年多くの露店が並びほか、中学校の吹奏楽演奏などが来場者を楽しませています。昨年は箱根町のブースも開かれ、伝統工芸の寄木細工を求める人が並びました。今年にもぎわいそうなのでぜひご参加ください！



HAKONE × TOYAKO



箱根町と洞爺湖町はさまざまなイベントをきっかけに互いのまちを訪れ、交流を深めてきました。姉妹都市提携60周年の今年も両町を代表するイベントにまちの人々が参加し、共に過ごす時間を楽しみます！



9月 北海道ツーデーマーチ



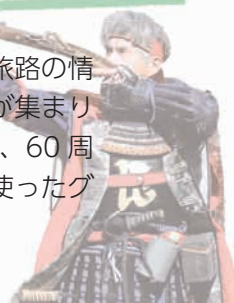
秋の湖畔を舞台に2日間にわたって開かれるウォーキングのイベントです。多彩なコースが設けられ、道内外の参加者が洞爺湖・中島を散策したり、湖畔を一周したりと自然の景観を楽しんできました。最後の開催となる今年は、箱根町の人々も足を運び、ツーデーマーチを盛り上げてくれます！



11月 箱根の大名行列



三代将軍徳川家光が定めた参勤交代。江戸の旅路の情緒を今に伝える伝統行事には、多くの観光客が集まります。これまで町の人々も訪れてきましたが、60周年の今年も参加。ホタテなどまちの名産品を使ったグルメを用意し、来場者を楽しませます！





危機を超えつないだ絆

1. 有珠山噴火の被災地支援のため、箱根町から派遣された職員(2000年) 2. 洞爺湖町応援ツアー(2018年) 3. 大規模災害時等の相互応援協定調印式(2012年) 4. 箱根町を襲った台風19号(2020年) 5. 噴煙を上げる有珠山(2000年)

提携60周年に至るまでには、姉妹都市の絆が試される時もありました。危機が生じるたび、洞爺湖町と箱根町は手を差し伸べ合い、苦難を乗り越えてきました。

活火山の有珠山と共生する私たちの洞爺湖町は、たびたび噴火災害に見舞われてきました。死者2名、行方不明者1名の人的被害が出た1977年噴火では、当時の箱根町長、箱根町議会議長がいち早く駆けつけ、義援金を届けてくれました。

2000年噴火では、初めて職員派遣が行われ、3次にわたって29人の箱根町職員が旧虹田町へ。避難所や災害対策本部の業務に従事し、復興への大きな支えとなりました。

2012年には、大規模災害時の相互応援協定を締結。情報収集先遣隊の派遣など応援内容を定め、防災体制をより強固にしています。

民間の相互支援も活発に行われました。2015年に大涌谷で小規模噴火が生じた際は、復興支援につなげようと洞爺湖町から100人以上の応援ツアーが実現。18年には、箱根町から洞爺湖町へのツアーも行われました。困難な時にこそ、支え合ってきた姉妹都市の歴史は今に受け継がれています。

姉妹都市のこれから

1977年噴火当時の旧虹田町。全国から届いた義援金の中に、廃品回収で集めたお金がありました。送ったのは箱根町の子どもたち。一緒に届いた作文には、こんなメッセージがあります。「箱根にも大涌谷があり、活発に動いていつも煙が上がっています」「これから仲よく手を結んでいきましょう」。

当時の旧虹田町広報は作文を「広報あぶた」に掲載。子どもたちの声は被災した町民を勇気づけました。姉妹都市の歴史は、助け合いの歴史でもあります。60年にわたってつなげてきた絆は、これから両町の歩みを一歩ずつ未来へと進めていきます。

つないでいこう！
わたしたちの歴史

